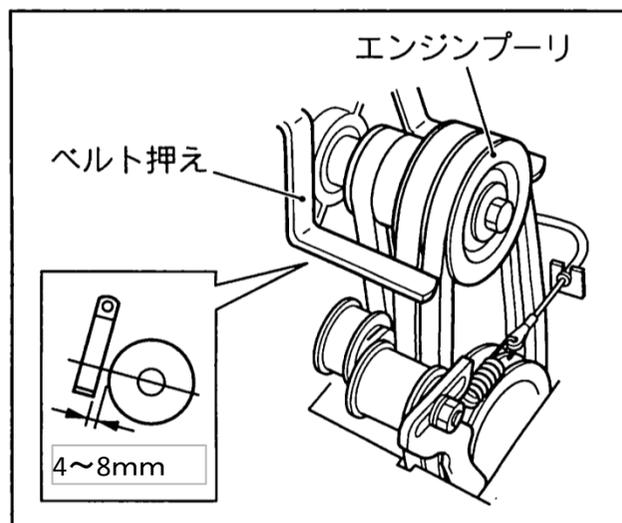


ブロワVベルトの調整



ブロワベルトのベルト押え調整

- ①エンジンを停止させた状態でオーガクラッチレバーを「入」にします。ベルトが張った状態となり、この時のVベルトとVベルト押えとの間隔を4~8mmに調整します。
- ②調整が適切であれば、オーガクラッチレバーを「切」にしてエンジンを起動させた場合、Vベルトに動力が伝わらずエンジンプーリは空転します。また、オーガクラッチレバーを「入」にした時、Vベルトに動力が伝わり、ブロワが回転します。
- ③2項の様に作動しない場合には、再度微調整してください。

ブロワテンションの調整

オーガクラッチレバー の状態でVベルト中央に約5kgの荷重をかけ、たわみ量が10~15mmになるように調整してください。Vベルトの張りが弱いとスリップを発生し、駆動力が低下します。右図のようにテンションワイヤのナットをゆるめて矢印の方向に移動させると、テンションプーリの作動位置が変わり、Vベルトの張りの強弱を調整します。